奈良市 協働のQ&A vol.18

協働事業を計画するときには、様々な疑問が出てくるかと思います。まずは、協働を進めていく主体や、最初に取り決めるべき事柄についてみてみましょう。

Q25 主となって事業を進めていくのは誰なの？

A25

協働事業を行うとき、誰が主体となって進めていくのかは、協働の形態などによって様々なので、少し例を挙げてみてみよう。

- **委託・指定管理**…協働の相手の選定については市の事業担当部局が行い、事業の運営は市と協議しながら協働する相手が進めていくことになるよ。
- **後援**…事業を行うのは協働の相手で、市は応援するという形だね！
- **共催・実行委員会**…一緒に一つの事業を主催するため、協議して役割分担を決めて進めていくよ！

どの場合でも、協働は**それぞれが対等な立場で取り組むことが原則**だよ。事業を進めていく際には、**上下ではなく横に並んだ関係**であることを意識して、より事業の効果が高くでるように進めていく必要があるね。それぞれの役割分担を決めた後も**完全に分業にするんじゃなく、随時連携し合って**、事業の目的や状況を確認し合おう！

Q26 最初にどこまで取り決めを行っておけばいいの？

A26

まず最初の企画段階で取り決める事柄としては、

①目標…事業の達成すべき目標を確認しよう！
②協働の行程…どういった手順で事業を進めていくのか決めておこうね。
③役割分担…お互いの強みを活かした役割を考えよう。
④責任やお金のこと…責任の及ぶ範囲やそれぞれの資金負担を取り決めてね。
⑤トラブル対策…想定できるトラブルをあらかじめリストにしたり、対処法を考えよう！

以上が主な内容になるよ。内容は事業の目的等によっても変わってくるけど、**事業を実施する前の協議は非常に重要**になるんだ。取り決めたことは文書などで、はっきりと**明文化**しておこう！交わす文書については、また今度紹介するね。

協働っていろいろな形態や取り組み方があるけど、しっかり連絡を取り合いながら進めていくことが大事なんだね！

協働の流れってどんなもの？

協働事業にはいろいろな手法があるけど、基本的な形として「**行政からの提案**」と「**協働の相手からの提案**」があるよ！それぞれどんな流れで行うのか、一例をみてみよう！

行政からの提案

課題の洗い出し

行政が単独で行うよりも**市民や団体と協働で行った方が効果が高い事業**はないかな？

既存の事業からも検討してみよう！

形態の決定

どんな協働の形態をとれば、より効果があるか、**市民ニーズや事業の目的を検討して判断**しよう！

相手を探す

相手を**公募**して審査やヒアリングを行ったり、**中間支援組織に相談**するといいよ！

相手をいろんな角度から見ることが大事だよ！

協働の相手からの提案

事業の提案

団体や企業、学校から提案があったら、**提案が市の政策や方向性と合致しているか**確認しよう。

担当課の調整

提案された事業が、**他の課や他の団体などと一緒に行った方が更に効果が上がる**ものの場合は、担当課同士で調整をしよう。

進め方がわからなかったら、協働推進課に相談してね！

事業内容を協議

左ページ（A26）を参考に、事業の目的を共有しながら、**対等な立場**で話し合いを進めよう。協議した内容は明文化してね。

Plan

Do

事業を実施

連絡を密にして、進捗状況を把握し、**お互いの特性を活かしながら**実施しよう。

「協議」や「実施」にもそれぞれのPDCAサイクルがあるんだよ。

軌道修正しながら進めていこうね。

Check

評価・フィードバック

事業終了後は、**相手との意見交換の機会**を設けようね。協働の成果については互いに評価し、積極的に**公表**しよう！

評価の結果を、次の協働事業を行う際に反映させることが大切だよ！

Action

NEXT! Q27 協働には規約や組織表は必要？

協働するのに必要な書類ってどんなものなんだろう…？